地球掘削科学共同利用・共同研究拠点
令和3年度 高知大学 海洋コア総合研究センター
Center for Advanced Marine Core Research

共同利用・共同研究成果発表会

高知大学 Kochi University

日時：令和 4 年 2 月 2 8 日（月）9：30 ～ 18：00／令和 4 年 3 月 1 日（火） 9：30 ～ 16：10　　会場：高知大学 海洋コア総合研究センター B棟2階セミナー室&オンライン

2月28日（月）

※発表題目および発表者（所属）のみ記載

9:30-9:40　開会挨拶
高知大学 海洋コア総合研究センター長　佐野 有司
地球掘削科学共同利用・共同研究拠点 課題選定委員会委員長　池原 研

9:40-10:50（座長：池原 実）
O-01「西オーストラリア，ピルバラクラトン，クリバービル層のCL3コアを用いた31億年前の海洋堆積環境の復元」石川 浩平（九州大学）
O-02「西オーストラリア，ピルバラ海岸グリーンストーン帯における32億年前，デキソンアイランド層の詳細観察による海底熱水系堆積場の解明」井口 祐輔（九州大学）
O-03「後期古原生代海洋における窒素循環」元村 健人（九州大学）
O-04「MALDI-TOFMSを用いたバイオマーカーイメージング：太古代の酸素発生型光合と試料汚染実験」齋藤 大樹（東邦大学）
10:40-10:50 討論

11:00-12:10（座長：奥村 知世）
O-05「親銅元素組成をもとにした白亜紀末隕石衝突直後の古環境復元」丸岡 照幸（筑波大学）
O-06「白亜紀末の小惑星衝突後の海洋のストロンチウム循環の復活過程（IODP Exp. 364 "Chicxulub Impact Crater"）」武藤 功太（東邦大学）
O-07「年縞湖成層から探る白亜紀中期および始新世前期“温室期”の数年～数千年スケールの気候変動」長谷川 精（高知大学）
O-08「インド洋 ODP Site 762Cコアの地球化学：始新世超温暖化イベントへの示唆」桑原 佑典（東京大学）
12:00-12:10　討論

13:30-15:00（座長：山本 裕二）
O-09「津軽半島における赤色土壌：更新世末における土壌・風化環境の変動例」小俣 彩（信州大学）
O-10「絶滅種イタヤガイ科二枚貝*Amussiopecten praesignis*の生活史と殻成長特性の変遷」川竹 慶（高知大学）
O-11「更新統穴内層より産出した*Mizuhopecten tokyoensis hokurikuensis*（二枚貝，イタヤガイ科）の日成長量変動と酸素同位体比プロファイル」吹本 樹（高知大学）
O-12「中部日本内陸盆地における更新統～完新統堆積物コアの堆積相・古土壌解析」葉田野 希（長野県環境保全研究所）
O-13「花粉組成変化に基づく過去4万年間のモンゴル～シベリア南部の時空間的植生変遷の復元」今岡 良介（高知大学）
14:45-15:00　討論

15:10-16:40（座長：朝日 博史）
O-14「島根県簸川平野の年縞堆積物を用いたXRFコアスキャンによる中期完新世の古環境復元」香月 興太（島根大学）
O-15「秋田県田沢湖湖底堆積物のシルト層・砂層の特徴」石山 陽子（秋田大学）
O-16「諏訪湖における堆積物の風化と供給源変遷：最終氷期以降の堆積物の化学組成からの考察」川野 律歩（信州大学）
O-17「常念山脈における岩石風化；砕屑物供給源地における風化環境の例」上山 瑛梨佳（信州大学）
O-18「貝形虫1殻ごとの酸素同位体比分析による中海の数日から数週間の底層塩分変動」山田 桂（信州大学）
16:25-16:40　討論

16:50-18:00（座長：浦本 豪一郎）
O-19「マンガンクラストの縞状構造に記録される氷期－間氷期サイクルに伴う地球環境変動」高馬 菜々子（高知大学）
O-20「850℃ 含水流紋岩質メルトの急減圧実験と発泡組織のX線μCT画像解析」西脇 瑞紀（九州大学）
O-21「Tagish Lake隕石片の空隙率と衝突破壊閾値：D型小惑星の衝突進化への示唆」中村 昭子（神戸大学）
O-22「プチスポット溶岩中の太平洋プレート構成物質の探索」石井 輝秋（静岡大学）
17:50-18:00　討論

3月1日（火）

※発表題目および発表者（所属）のみ記載

9:30-11:00（座長：カース ミリアム）
O-23「相対古地磁気強度推定の高度化への取り組み：南東太平洋チリ沖コアの例」山崎 俊嗣（東京大学）
O-24「富山市六泉池の堆積物と走磁性細菌抽出試料の磁気特性」石川 尚人（富山大学）
O-25「堆積物形成初期に磁性細菌*Magnetospirillum magnetotacticum* MS-1が獲得する残留磁化の系統的検討－細胞の配向を抑制した系」政岡 浩平（九州大学）
O-26「モンゴル国南東部に分布する古第三系Ergilin Dzo層の古地磁気学的研究」坂本 航汰（岡山理科大学）
O-27「双子のラシャン地磁気エクスカーション－非軸双極子磁場の間欠的な卓越」兵頭 政幸 (神戸大学)
10:45-11:00　討論

11:10-12:20（座長：山本 裕二）
O-28「古津波遡上範囲推定に向けた泥質津波堆積物認定手法の開発」 中西 諒（東京大学）
O-29「陸域起源バイオマーカーによる津波痕跡の識別と浸水限界の再評価」篠崎 鉄哉（産業技術総合研究所）
O-30「日向灘スロー地震は九州パラオ海嶺が起こしているのか－表層からのアプローチ」木下 正高（東京大学）
O-31「房総沖掘削コアC9010Eに介在するテフラ層序研究の進捗と概要；玄武岩質テフラの給源」青木 かおり（東京都立大学）
12:10-12:20　討論

13:30-15:00（座長：氏家 由利香）
O-32「田辺層群の古地磁気から推定される日本海拡大期の西南日本の移動様式」星 博幸（愛知教育大学）
O-33「法科学における地質学」川村 紀子（海上保安庁 海上保安大学）
O-34「伊豆小笠原弧東青ヶ島海丘カルデラ熱水域から得られた重晶石の年代測定」石橋 純一郎（神戸大学）
O-35「中生代白亜紀モササウルス類化石における歯と顎骨の結合関係」三島 弘幸（鶴見大学）
O-36「四万十川河川内におけるタカハヤの遺伝的多様性」関 伸吾（高知大学）
14:45-15:00　討論

15:10-16:00　総合討論
16:00-16:10　学生優秀発表賞表彰・閉会挨拶
高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長　岩井 雅夫

＊共同利用・共同研究は，国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得て実施されています。